

大学と連携した小中学生の防災力向上を目指した防災教育の実施 ～令和6年度『キッズ向けさいがいMAP』を活用した防災教育を実施～

開催趣旨

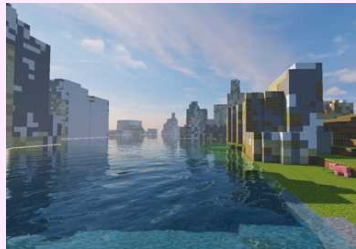
- ◆ 岩手河川国道事務所と東北工業大学が連携し、令和5年度に引き続き今年度も『キッズ向けさいがいMAP』を活用した防災教育を実施。
- ◆ 『キッズ向けさいがいMAP』は、「ゲームソフトの“マイクラフト”」、「3D都市データ(PLATEAU)」、「浸水想定区域図」を組み合わせ、自分が住んでいる街が浸水した仮想空間を再現したもので、その中をパソコン上で自由に散策し、自分が住んでいる街の浸水危険度やハザードマップを正しく理解し、防災に対する知識の向上を目指すもの。
- ◆ 防災・減災の取組み研究をしている“東北工業大学工学部都市マネジメント学科 小野桂介講師”から、盛岡市内の小中学生(盛岡市立河南中学校、中野小学校、大慈寺小学校)に対して『キッズ向けさいがいMAP』を用いて説明を実施。

“マイクラフト”を活用した 防災教育の流れ

1. 授業の目標
自分たちが住む街に、**史上最大級の大雨が観測された場合、盛岡市がどのくらい浸水するか学ぶ。**
2. 街を空中散歩しよう。浸水危険度を学ぶ。
3. ブロックで街を守ろう！洪水対策を学ぶ。【中学生のみ】
4. グループワーク【中学生のみ】
5. アンケート、まとめ

【キッズ向けさいがいMAPの画面例】

※3D都市データ(PLATEAU)を活用しているため、街をリアルに再現
※ゲームの世界では、1ブロックの大きさが1m×1mのため、浸水深さも確認できる



マイクラフトに
浸水した街を再現



仮想空間を自由に散策

NOT OFFICIAL MINECRAFT CONTENT.
NOT APPROVED BY OR ASSOCIATED WITH MOJANG.

実施状況



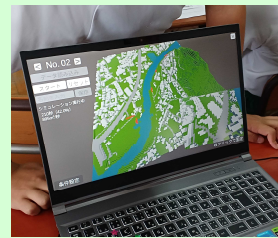
① 浸水した仮想空間を自由に空中散策



② 学校の浸水深を確認



③ 街を守る為、堤防ブロックを配置



④ シミュレーションでどのように溢れるか確認



⑤ 望ましい洪水対策について、グループ議論



⑥ グループ毎に考えた洪水対策を発表



R6.8.29(木)、11.19(火)
河南中 2年生(110名)



R6.11.8(金)
中野小 6年生(89名)



R6.11.8(金)
大慈寺小 5年生(22名)

報道関係

●テレビ放送

- R6.8.29(木) 18:24～18:25 「ニュースプラス1いわて」【日本テレビ系列】
- R6.8.29(木) 18:25～18:28 「スーパーJチャンネル岩手」【テレビ朝日系列】
- R6.8.29(木) 18:55～18:56 「mit Live News」【フジテレビ系列】
- R6.11.8(金) 18:22～18:23 「ニュースエコー」【TBS系列】

●新聞報道

- R6.8.31(土) 岩手日報 朝刊 第18面
- R6.9.2(月) 建設新聞 朝刊 第9面